

校内研究便り No. 8

令和5年9月29日（金）
昭島市立玉川小学校
研究推進委員会

1 研究授業ありがとうございました

9月20日（水）、二回目の研究授業が行われました。授業者の先生をはじめ、中学年分科会の先生方、夏休み中も何度も打ち合わせを重ねて準備を進めてくださいました。ありがとうございました。

協議会では、目指す児童像に迫るための手だてについて、意見を交わすことができました。司会や記録の先生方、御協力ありがとうございました。



2 研究協議会より

A グループ

- ・作戦タイムではホワイトボードを上手に活用できていた。
- ・ゲームの動きの中で共通理解をもたせると良かった。
- ・パドレット等のメリット・デメリットを考えるべき。

B グループ

- ・ホワイトボードを上手に活用して作戦を練ることができていた。一方で、キャプテンだけでなく他の児童も具体的な動きの表現がそれぞれもてると良かった。
- ・試合は2回目の動きの方が良く、チーム同士の声掛けが活発であった。また4年生の動きを取り上げたのが有効的だった。
- ・動画の活用は適切だったか今後考える必要がある。

C グループ

- ・作戦タイムでは全員が発言できるようにする必要があったのではないかな。
- ・また作戦タイムの時間設定も適切だったか。運動面で自己表現させても良かったのではないかな。〇〇作戦カードを持たせても表現ができたのでは。

事前授業を参観して先生にアドバイスをしてくださった先生方ありがとうございました。



・「勝ちたい」という意欲はどういうところで高めていったか。→4年生はリーグ戦で行った。

D グループ

- ・どの児童もとても意欲的に取り組んでいた。
- ・チーム同士で自然と発生する意欲面がもっと見られると良かった。
(円陣、オリジナルの声掛けなど)
- ・ホワイトボードの活用がよくできていたが、マグネットに名前を付けても良かったのではないか。
- ・授業外に見ることが多かったと自評があったのでタブレットは有効的であったか考えたい。

→タブレットを活用した経緯

- ・音楽で活用していたので、それを継続して今回取り入れた。玉川タイム等を活用して入力をさせていた。他のクラス、学年の動きを見ることでより良い動きにつなげたかった。
- ・振り返りの入力は選択式にし、どの児童も振り返られるようにした。

3 指導講評 講師:明星大学准教授 今野貴之先生 より

前時の振り返りについて

- ・先生の話をもう少し短くしても良かったのではないか。教師の話を端的にし、子供にこれまでの学習について話させるようにすると良い。

体育における端末の使い方

- ・どの場面で端末を活用するか振り返りの仕方を考えると良い。

言葉での表現

- ・作戦タイムで関わろうとしない子もいた。言葉での表現が難しい子もいるので、そのような児童も表現がでるように端末を活用するなど、環境の準備が必要。

振り返りの仕方

- ・教師がまとめるのではなく、子供たちに気付かせられるような問いかけが必要。

4 今後の予定

- | | |
|-----------|---|
| 9月29日(金) | 記録写真保存第二回締め切り
(各学年・専科・委員会・クラブ) |
| 10月3日(火) | 校内研究全体会 16:15~
<u>分科会で2月の研究授業の指導案検討</u> |
| 10月27日(金) | 2月指導案・取り組みスライド・パワーポイント校内起案締め切り |
| 10~11月中 | 研究発表当日を想定したタブレットの動作確認日を予定しています。
第一候補 10月27日(金) 5校時 |

2月の研究発表の授業者の先生は、分科会で検討するために、指導案や授業作りチャートの準備をお願いします。

